

演者: 宮脇 敦史 先生 (M.D., Ph.D.)
Atsushi Miyawaki, M.D., Ph.D.

理化学研究所 細胞機能探索技術研究チーム チームリーダー

Team leader of Laboratory for Cell Function Dynamics, RIKEN Center for Brain Science

Phenomenal Bioimaging

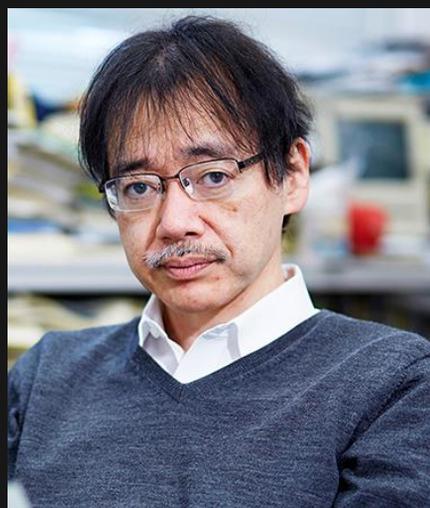
Date: 2020 Oct. 12th (Mon) 16:00-18:00

講演会場: 群馬大学 刀城会館 (昭和キャンパス)

venue: Tojo hall, Gunma University (Showa campus)

新型コロナウイルス対策のため現地開催(60人以内)+学内Zoom講義と
します。いずれの形式もお申し込みが必要です(下記申込方法参照)。

Precaution against COVID-19: The on-site lecture will be held with ~60 people. But
all the university people can join via Zoom! (see below, registration required)



宮脇先生は、バイオイメージング(Bioimaging)の世界的先駆者として、おびただしい数の新しい可視化技術を開発されてきました*。

構築された新たな実験系と理論は、生命科学研究分野で重要な様々な現象(Phenomena)を捉え続けるだけでなく、がんや脳疾患など医学的応用へと進んでいます。

本講演では、世界が注目する宮脇先生のご研究の内容とともに、研究の動機や、研究への考え方などについてもご講演いただく予定です。

* 開発された可視化物質の一部:

Cameleon (Ca²⁺イオン), Venus (高輝度GFP), Kaede (蛍光のON/OFFを不可逆的に制御可能), Dronpa (同様に、可逆的に制御可能), Fucci (細胞周期), Keima (pH変化やオートファジー), GEPR1 (レチノイン酸), UnaG (ビリルビン) ほか、Scale法 (組織透明化) や顕微鏡技術において非常に多岐にわたる成果を発表されています。

お申し込み方法: **10月9日 正午まで**に、Googleフォームに必要項目をご記入ください(右のQRコードまたは<https://forms.gle/kWJ9eQFb6dsDR4rg8> 参照のこと)。会場講演参加の可否とZoom講義へのアクセスをご連絡いたします。

REGISTRATION: Please fill in Google form via QR code or URL above.

DEADLINE: Noon, Oct. 9th. On-site/zoom will be informed later.

